

17年度第2回研究会開催のご案内

1 テーマ

「共同建替えを柱にすえた密集市街地の総合的再生」 ～富山県射水市放生津地区(約8h)の挑戦～

2 概要

万葉の時代からその名が現れる放生津(ほうじょうづ)は、古くから漁業や北前船によって発展し、旧新湊市の中心市街地として栄えてきたが、若年層の転出によって、人口減少と高齢化が著しく進行している。中でも、昔ながらの狭い道路と細切れの敷地割りを残す約4haのエリアは、防災に関する脆弱性も顕著なため、平成15年には富山県内で唯一の重点密集市街地として公表されている。

この地区では、平成18年より住民と行政との協働によるまちづくりの取り組みが始まっている。「多世代が住み続けられるまち・放生津」を目標とし、①高齢者の安心居住、②子育て世帯の居住、③自然・文化の継承をサブテーマとして、地区を6～7の工区に分け、住まいの建替えを中心とする再生事業が進んでいる。

すでに竣工している二棟の共同建替え住宅では、従前居住者の住まいを確保することどまらず、一棟目(平成28年竣工・28戸)には富山型デイサービスが、二棟目(平成28年竣工・25戸)には小規模多機能型居宅介護が併設され、地域の高齢者を支える役割も担っている。

現在は、共同化を実施した工区とは別の二つの工区において、戸建再建を中心とした小規模な土地区画整理事業の合意形成と既存家屋の除却がほぼ完了し、今年度中の道路整備と従前居住者の戸建再建を目標としている。また、まだ事業計画未策定の他の工区では、昨年度から工区内に居住する地権者の個別訪問を開始している。今後、地区外に居住している関係権利者の個別訪問も実施して、計画検討と意向調整へと進む予定とのことである。

今回の研究会の講師である丸山豊氏は、この地区で、プランナー・コーディネーターとして、地元住民や行政にとどまらず、多様な専門家をつなぐ要として、まちづくりを主導してきた。

放生津は、決して、地方都市の特異なまちづくり事例とみなすべきではなく、首都圏の密集市街地においても大いに参考にすべき事例である。丸山氏の報告に期待する。

3 講師

丸山 豊 氏 (まるやまゆたか) (株)まちづくり研究所取締役(リ・らいふ研究会理事)

4 開催日時

2017年9月23日(土・祝) 16:00～18:00

5 会場

旭化成不動産レジデンス(株) セミナールーム
西新宿2-3-1 新宿モノリスビル25階

6 資料代

一般:1000円 会員・学生:500円 賛助会員:無料

7 参加申込み

参加を希望される方は、9月20日(水)までに、「リ・らいふ研究会事務局」までにメールにてお申込みください。お申込みにあたっては、①氏名②所属③電話番号をご明記(様式自由)ください。

お問い合わせ、お申込みは、E-mail: relife@relife.or.jp まで

特定非営利活動法人リ・らいふ研究会東京都小金井市本町11-4-16-103 武蔵小金井ヒルズ



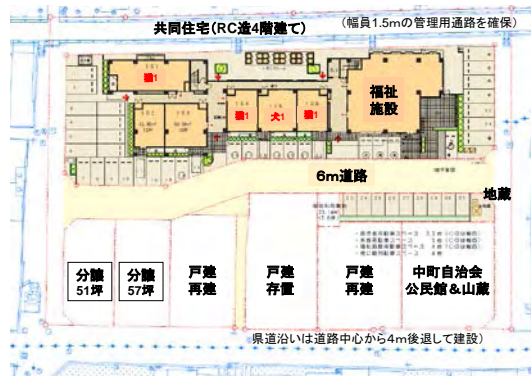
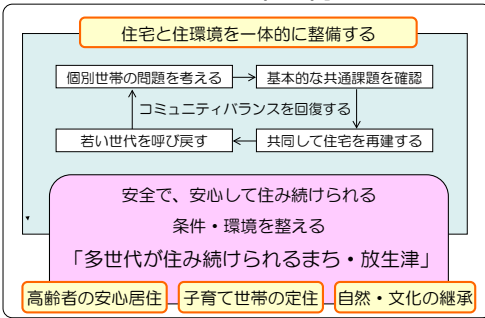


ラ・メール放生津(奈呉町H28.4)
いつでも来られま放生津

リアン放生津(中町H25.5)
イヤサー新湊



コミュニティの再生



H290606世話を踏まえて修正した土地利用案です

